かけがえのない日々を胸に

『見えるものと見えないもの』

3年2・6・8組 副担任
和田 実穂子

この三年間の成長は、目で見えるものと見えないものがあります。見た目がずいぶん大人っぽくなった人もいます。成績が上がったり、クラブでできなかった演奏や演技、プレイができるようになったりした人もいるでしょう。そんな中、周りの人への感謝の気持ちを持てるようになったりだとか、相手を気遣うことができるようになってきたりだとかといった目には見えない成長が感じられる人もたくさんいます。そんな人たちはきっとこれから進んでいくそれぞれの道で、素敵な花を咲かせてくれることでしょう。花が咲かなくってもいいんです。あせらずゆっくりと足元をみつめて根をはって、歩いて行ってください。

花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根は見えねんだなあ

相田みつを『にんげんだもの』より

大切なあなたたちの幸せを祈っています。

卒業おめでとう。

◆◆◆◆◆

『自由を楽しむために』

3年4・7組 副担任
植田 崇行

電力自由化が話題になっている。百二十社が既に業界参入の意思を見せているそうだが、百二十もある会社の中からどうやって選ぶのだろう。まずは料金を比較しできるだけ安い会社を選ぶのが基本だろう。だが安かろう悪かろうという言葉もある。ケーブルテレビやインターネットとパックで販売するところもあるようだから付加サービスを吟味することも大事だ。断線や停電した時の対応や、信用できる会社かどうかも確認しなければならない。何だかんだと考えることが次から次へと出てきてしまう。

僕なんかはこちらへんで目まいがしてくるのだが、自由というのはかくも面倒くさいものなのである。どんな決断を下すのも自由だが、決断に至るまでには勉強もしなければならないし、その結果がどうあれ自分で引き受けなければならない。しかし面倒くさいからと言って全ての決断を他人に委ねて言われるがままの人生を送るのは味気ない。是非とも君たちには自由な人生を頑張って満喫していただきたい。その時本校で学んだことが活かされるのであればこれほど嬉しいことはない。

◆◆◆◆◆

『「あきらめない心」を持ち続けよう』

進路指導部長
織田 直子

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。今日晴れの姿で再び新しい門出が迎えられたことを何よりも嬉しく思います。

本校では高校入学時から「進路」を意識した様々な取り組みを行なってきました。進学では進路ガイダンスやオープンキャンパス、学科試験対策の講習等を通して自分の適性や学力を最大限発揮できる学校選びができたと思います。その結果大学・短大に六十六名、専門学校六十四名が合格しました。一方就職では夏休み中も職場見学・面接指導などの就職活動を通して自分と向き合い、縁故も含めて三十六名が内定通知を手にしました。進学も就職も苦労して手に入れた合格はきっと大きな実りとなって将来に生きてくることでしょう。

しかしこれから先大きな試練や失敗があるかもしれません。そんな時はスマートに要領よくこなそうとしなくてもいい、今やるべきことを冷静に考えて、時間がかかっても誠実に粘り強く向き合いましょう。頑張った自分を思い出し、最後まで「諦めない心」を持ち続けて下さい。これからもさらに成長し続けていくみなさんを応援しています。

（合格者数は二月十日現在の数字です）

◆◆◆◆◆

『常に前向きに』

PTA会長
合田 里美佳

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。金光藤蔭で過ごした高校生活は皆さんにとって一生の宝物となり、充実した三年間になったことと思います。

これから進学へ就職へとそれぞれの道へ進む先にはたくさんの困難が待ち受けています。

やりたくない仕事、意に沿わない仕事、山ほどの提出物、長い長い授業、でもそれは自分を磨き強くする力を秘めています。

どんな時でも考え、工夫してみること、そしてやってみることです。失敗すればやり直せばいいのです。

考え実行し失敗するのはいい、それは結果。一番いけないのはやる前から失敗したらどうしようか？と考えることです。

どうすればいいのか迷った時は、一番身近でどんな時も味方で人生の大先輩であるお父さんやお母さんに相談することも時には必要です。

自分のペースで周りに流されることなく小さな目標を決めそれを目指し少しずつ進んでいってほしいと願っています。

◆◆◆◆◆

『お祝いの言葉』

27年度 同窓会会長
中村 悦子

すぐそばに春の訪れを感じる今日のよき日にご卒業される皆様、おめでとうございます。

金光藤蔭での高校生活はいかがだったでしょうか。過ぎ去った時を振り返り、これからの行くべき道に対して思いを新たにし、大きな希望と夢に胸を膨らませておられることだと思います。

ご卒業にあたり、皆様に二つの祈念をいたします。一つは、創立九十周年を迎えようとしている歴史ある学校で学んだことを誇りに、建学の精神にある「世のお役に立つ」人としてご活躍されることです。

そして、ここまでやって来られたことへの「感謝の念」を支えてくれた人に示してください。いくつになっても人は誰かに支えられて生きています。そして誰かを支えて生きています。自分のためだけでなく誰かのために生きるということは、責任を伴い、思いがけない苦労をすることもありますが、とても幸せなものです。これからの未来を生きる皆様が、そんな「幸せ」を感じる人生をおくられることを二つ目の祈りといたします。

何かありましたら、いつでもこのあたたかい学び舎である母校を訪れてください。そして是非、同窓会にも参加してください。心よりお待ちしています。

追伸

今年の同窓会総会は二十八年十一月十一日（金）上本町シェラトン都ホテル大阪にて

九十周年記念祝賀会と同時開催いたします。皆様方のご参加お待ちしています。

冬のコースウィーク

『「冬のコースウィーク」を終えて』

1年1組 平山 桃花
（大阪市立東生野中学校卒）

私たち文理特進コース一年生のコースウィークは、十二月十四日から十八日の五日間でした。夏の時と同じように国語と英語、そして来年度理系を選択している人に数学の講座も開講されました。英語は習熟度別の二つのクラスに分けて授業をして下さり、わかりやすかったです。また、十二月二十一日から二十五日は出席日数には入っていませんでしたが、私たちのために、進学講習がありました。十二月十五日は二年生と一緒に、京都の佛教大学と金閣寺に行きました。佛教大学では、大学見学をさせてもらいました。大学の雰囲気を感じることができ、これから進路を決めていくときに役立つ良い経験になりました。金閣寺は落ち着いた情緒溢れる素敵なお寺でした。滞在時間は短かったですが、進学講習の息抜きにもなった一日でした。

◆◆◆◆◆

『「冬のコースウィーク」を終えて』

1年7組 北野 綾香
（守口市立梶中学校卒）

「冬のコースウィーク」で「阿倍野・天王寺エリアの散策」と「ダンス体験」or「アニメ・イラスト・声優体験」を専門学校で行いました。「阿倍野・天王寺エリアの散策」ではウォークラリー形式で様々なチェックポイントを回りました。史跡や観光スポット、さらに行く機会がほとんどなかった隠れた名所など、自分たちの住む町についてより深く知ることができ、大変良い勉強になりました。「ダンス体験」or「アニメ・イラスト・声優体験」は総合学習の選択科目によって分かれての体験学習でした。「ダンス体験」はキャットミュージックカレッジ専門学校で設備の整ったリハーサル室を使わせて頂き、専門学校の先生からダンスを教わったそうです。私は「アニメ・イラスト・声優体験」に参加しました。大阪アニメーションカレッジ専門学校に行って、アニメ・イラスト・声優の三つの分野に分かれて授業を受けました。「アニメ」ではドラえもんのパラパラ漫画を制作し、「イラスト」ではキャラクターの描き方から色の付け方などを学び、「声優」では実際にスタジオを使わせて頂いてワンピースのアテレコをしました。どれも普段の学校では体験できないものなので、貴重な体験になったと思います。

◆◆◆◆◆

『検定試験』

2年4組 城嶋 謙
（大阪市立鶴橋中学校卒）

冬のコースウィークは三日間あり、専門学校講習や検定試験、放課後学習のまとめテストを行いました。

そのなかでも私が頑張ったのは検定試験です。試験は二種目を受験しました。ひとつは情報処理技能検定試験で表計算ソフトを使用して、問題の指示通りの計算や抽出を行うプログラムを作成し、表を完成させる試験です。もうひとつはプレゼンテーション作成検定試験で指示通りの図形やアニメーション等を組み合わせてスライドを完成させる試験です。緊張しましたが、試験の傾向やポイントを先生やアシスタントの先生方がしっかりと教えてくださったおかげで最後までしっかりと解くことができました。試験結果は三学期に入るまで分からないので不安でしたが、無事に合格することができて嬉しかったです。

三年生の進路では資格が武器になるので今年の夏までにできる限り多くの資格を取得して希望の専門学校へ進学したいです。

◆◆◆◆◆

『充実したコースウィーク』

2年5組 峯松 奈々
（大阪市立中野中学校卒）

今回のコースウィークは、京都での観光実習と辻学園でのクリスマスケーキ作りでした。

京都の観光実習では清水寺付近の問題を解きながら、清水寺で写真を撮ってメールで送信するというのがお題でした。基本的には自由行動だったのでお土産なども買うことができました。昼食を食べに入った店で偶然先生方と会い、いつもと違う先生方の姿を見ることができたように思います。

辻学園ではクリスマスケーキを作りました。ドーム型のケーキを四人ぐらいで一ホール作りました。作る時も辻学園の先生が横で丁寧に教えてくださいました。みんなで作ったケーキの味は忘れられません。

ライフクリエイティブコースを選んでよかったなと思える充実したコースウィークでした。

藤蔭祭

『藤蔭祭最優秀賞』

1年3組 鈴東 秋香
（大阪市立淀中学校卒）

一年生は会場装飾でした。どのように装飾をするかをクラスで決めているときは、乗り気な人は少なかったのですが、私の案が一つ選ばれて、できあがったときはどんな感じになるのかと、楽しみになりました。実際に作業を始めると、取組み時間中はみんな協力的になったと思います。しかし、時間内には完成しそうになかったので、放課後に残って作業することになったとき、帰る人もいるし、残っている人もおしゃべりしたり遊んだりして、なかなかスムーズにはいかなくてあせりました。何とか藤蔭祭の前日に、ぎりぎりでしたが完成した時にはホッと安心しました。

実際に展示を始めたとき、私たちが作った鳥居は身長が高い人が頭をぶつけてしまうので、くぐって通らなければいけないというデメリットもありました。しかし私は、秋の風情が感じられるように工夫した灯りと紅葉、また階段の絵もとてもきれいにできたし、最優秀賞もとれたので、頑張ってよかったと思いました。

◆◆◆◆◆

『皆でとった最優秀賞』

2年1組 文元 善香
（大阪市立新巽中学校卒）

十一月十四日、藤蔭祭で私のクラスは『トタバタ演劇 鬼退治！』という自分たちで一から作ったオリジナルの劇を披露しました。一組二組合同で取り組み、力を合わせて最高の劇を披露することができましたが、この劇ができるまでに色々な出来事がありました。

藤蔭祭に向けて、私たちはまず何をしないといけないのかを皆で話し合い、リストアップしていきました。大道具や小道具、衣装づくり、セリフ覚え等、しなければいけないことは多くありましたが、余裕をもって取り組んでいくつもりでした。しかし、台本ができあがったのが藤蔭祭一週間前だったので、余裕を持つどころか、休み時間を使ったり毎日夜遅くまで残ったりしてなんとか道具や衣装を完成させました。セリフを覚えたのもギリギリで、何度も教室で練習し、披露できるまでになったのが前日でした。

藤蔭祭当日、緊張しましたが、自分の中では完璧な劇ができたと思っています。皆で頑張った甲斐があり、最優秀賞をいただくことができ、とても嬉しかったです。今年で最後なので、次も最優秀賞をもらえるよう頑張ります。

◆◆◆◆◆

『最優秀賞』

3年6組 武本 貴大
（八尾市立龍華中学校卒）
辻学園調理・製菓専門学校
上級調理科 進学

最後の藤蔭祭で六組が最優秀賞をいただけるとは思ってもみませんでした。取り組み当初、なかなかまとまらず、本当に大丈夫かなぁ……と思っていました。ですが、本番三日前に担任の奥田先生が私たちを鼓舞させるために、声を大にして説教をしました。そのおかげもあってか、クラスに団結力があらわれました。

いよいよ藤蔭祭当日となり、六組は発表が一番目で、心の準備をする間もなくその時を迎えました。緞帳が上がる直前、クラスみんなで円陣を組み、掛け声を掛け合いました。一人ひとりが役割を全力でこなし、無事に終えることができました。

そして結果発表のとき、校長先生の口から「最優秀賞は……三年六組！」と聞こえました。思いもよらぬ結果に、担任の奥田先生も含め、六組全員が歓喜の声に包まれました。人生最後の藤蔭祭で最優秀賞を受賞することができたことは、本当にうれしく、私の誇りです。